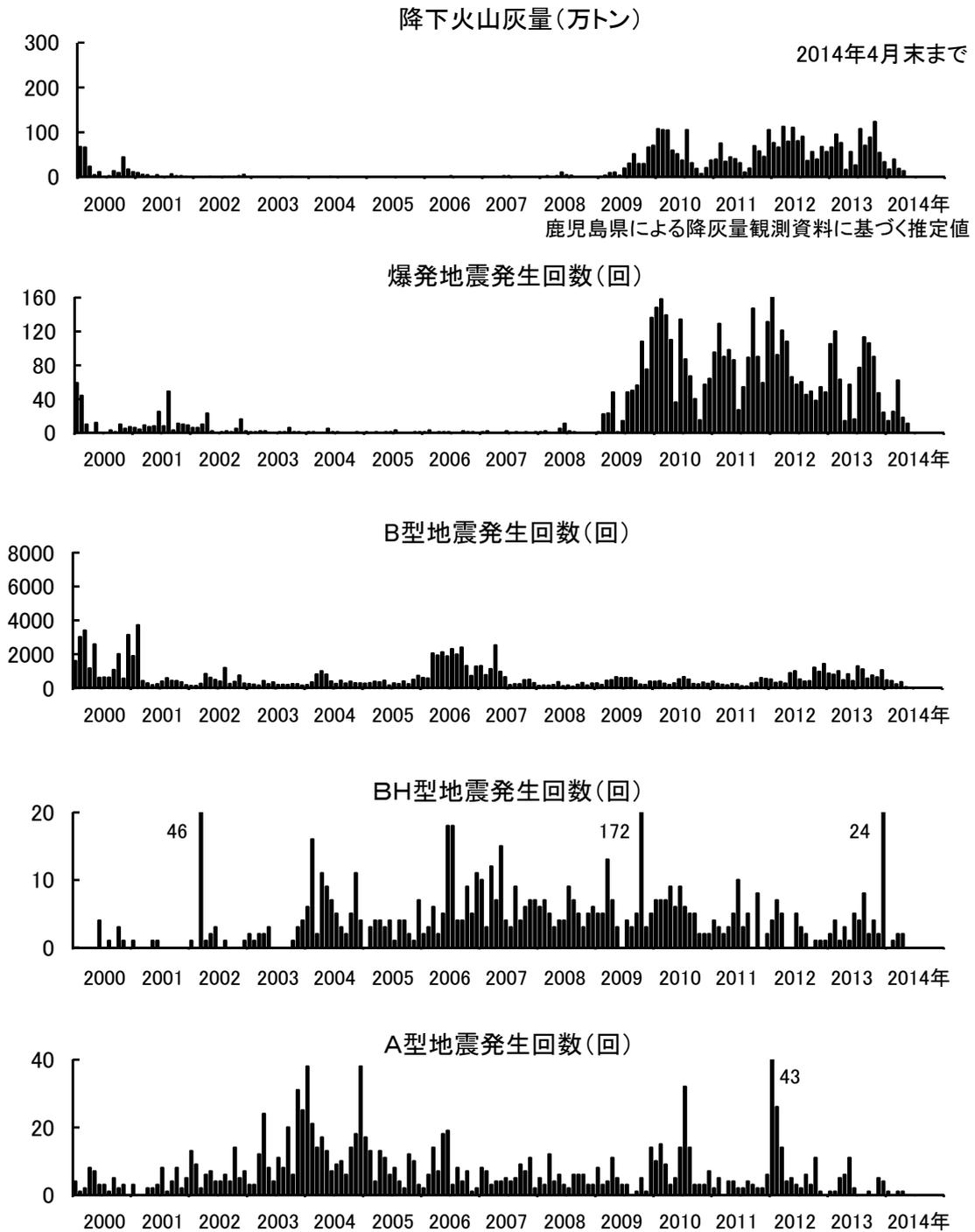


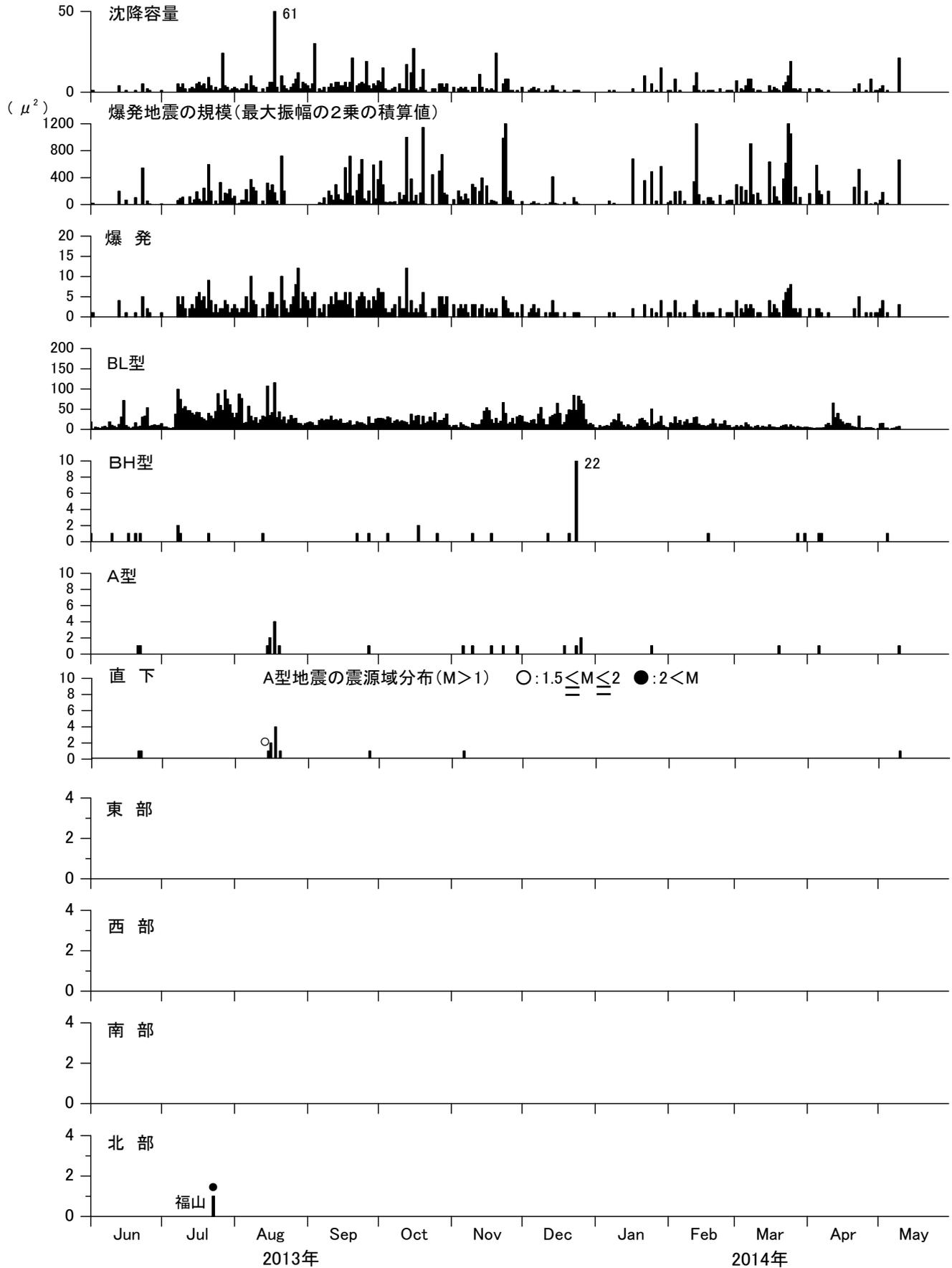
桜島の長期的噴火活動・地震活動の推移



桜島における火山性地震の月別発生回数と降下火山灰量
(2014年5月10日まで)

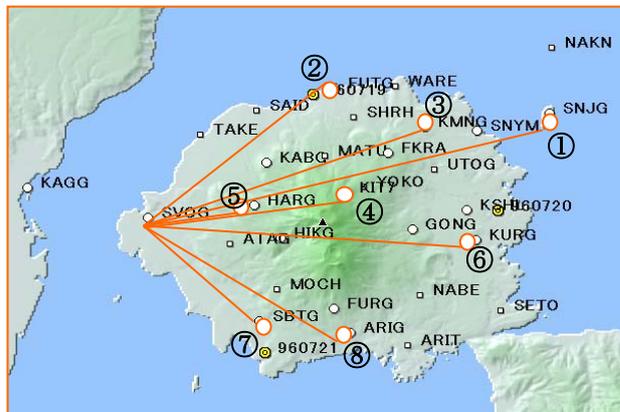
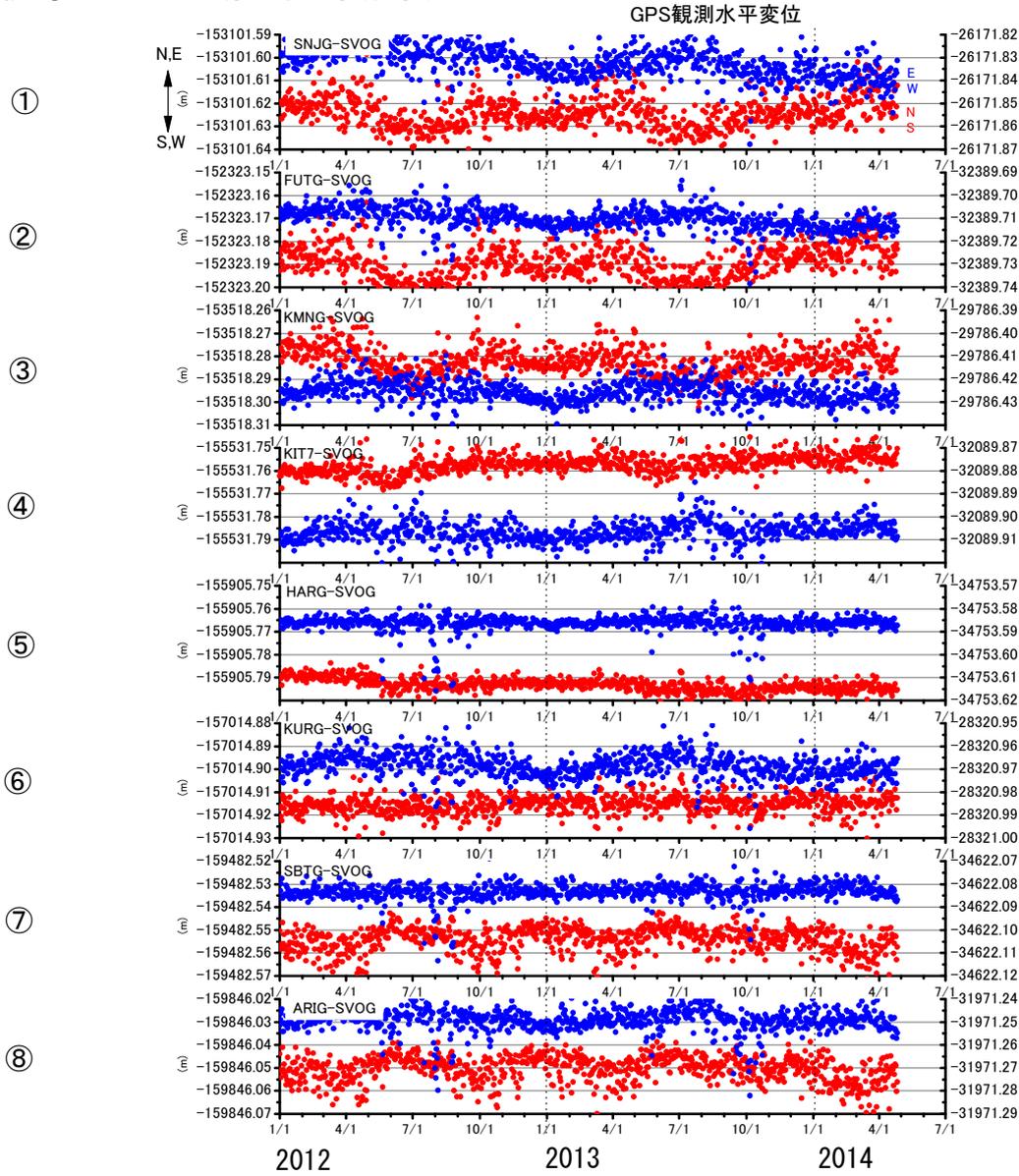
桜島の最近の噴火活動・地震活動の推移

($\times 1000\text{m}^3$)



火山性地震の日別発生回数(2014.5.10まで)

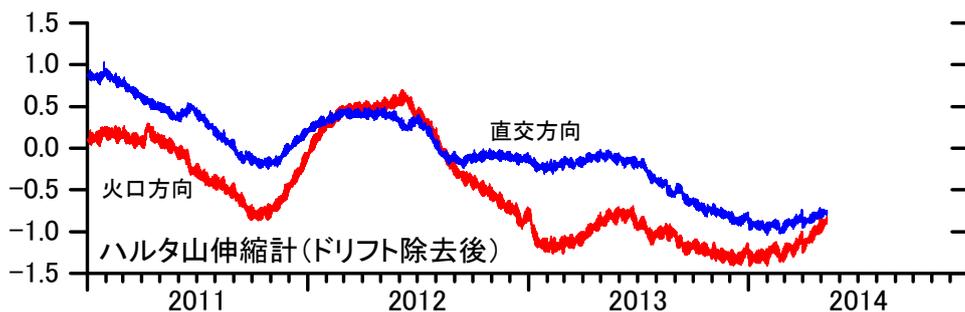
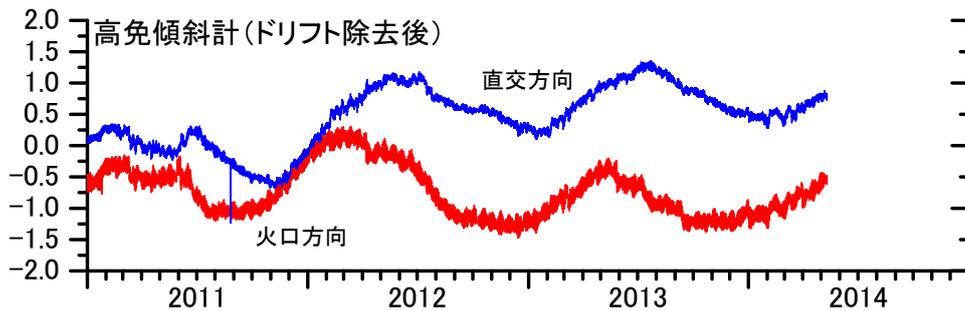
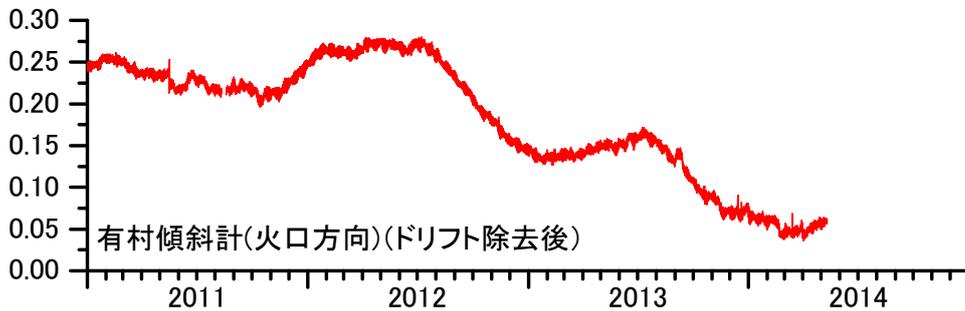
桜島における短期的水平変位変化



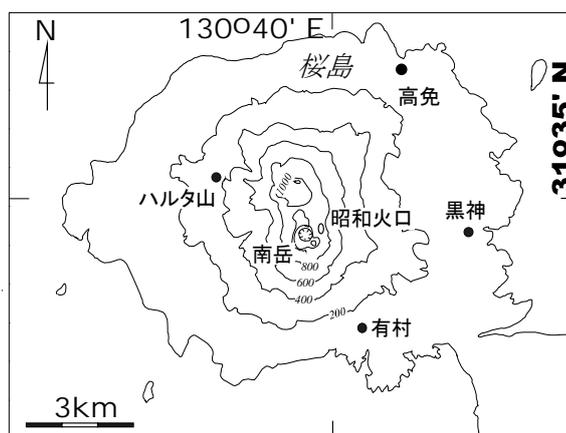
国土地理院発行の数値地図 50m
メッシュ(標高)から作成

GPS 連続観測 2/2(2014年5月10日まで)

傾斜およびひずみ変化



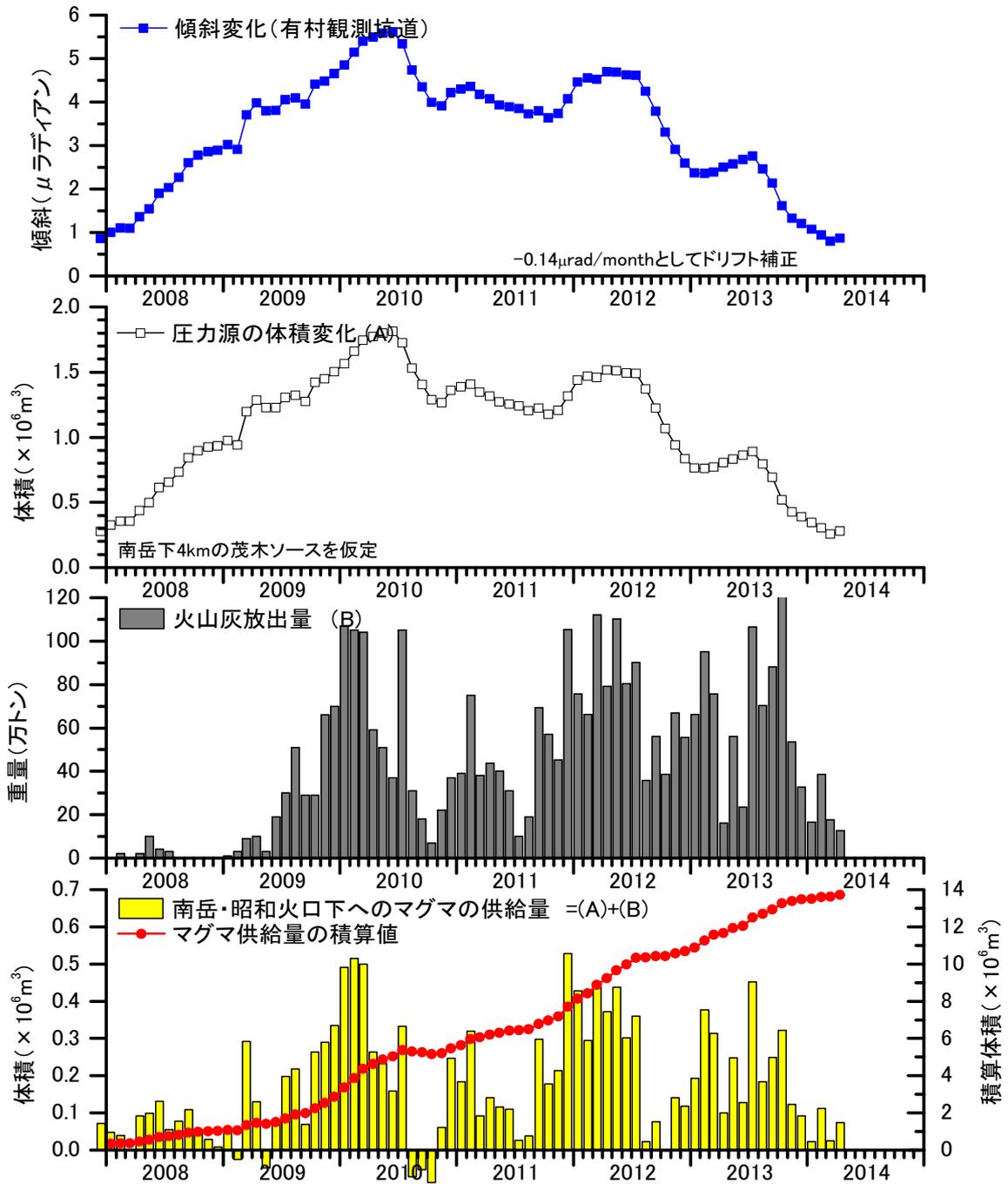
京都大学防災研究所



傾斜およびひずみ変化

高免では桜島の北岳北麓の隆起が、また、ハルタ山では伸張ひずみが2014年1-2月から検出されている。有村で南岳側の隆起が観測されるのは4月以降である。

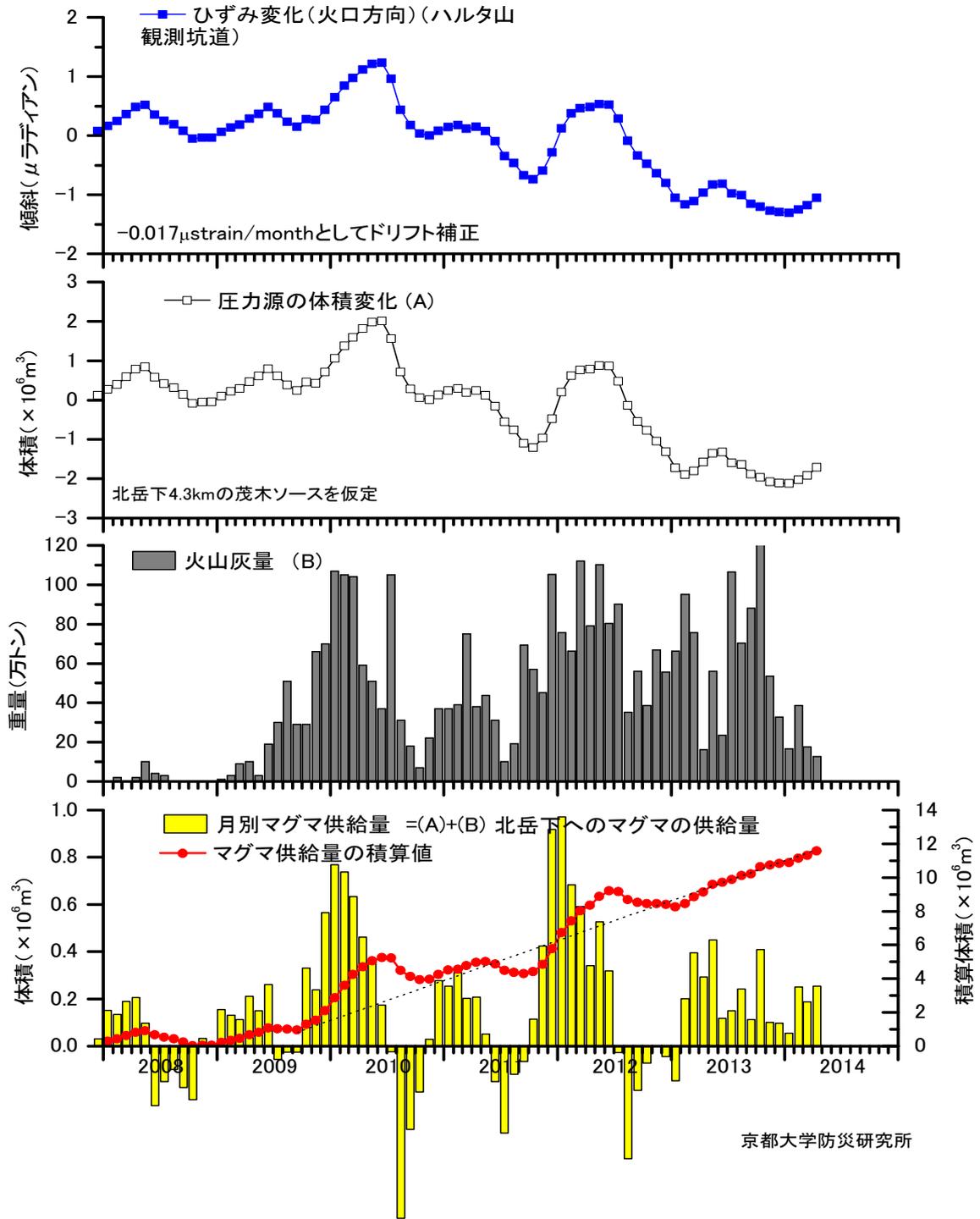
南岳山頂下へのマグマ供給量の見積もり



南岳山頂下へのマグマ供給量の見積もり

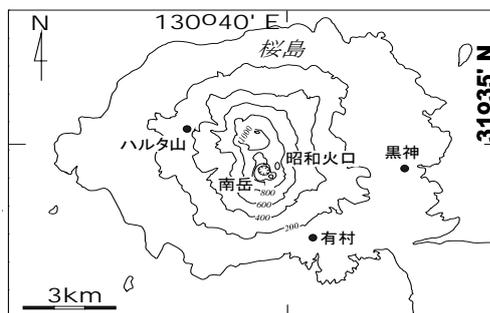
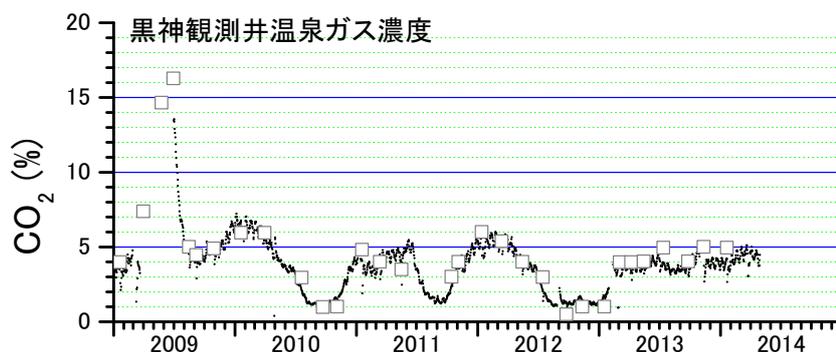
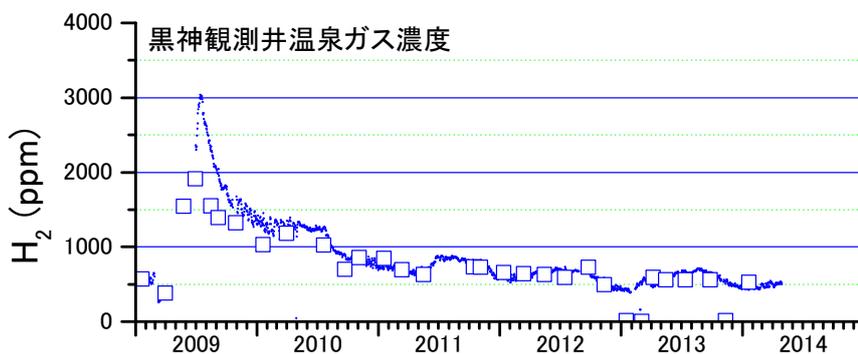
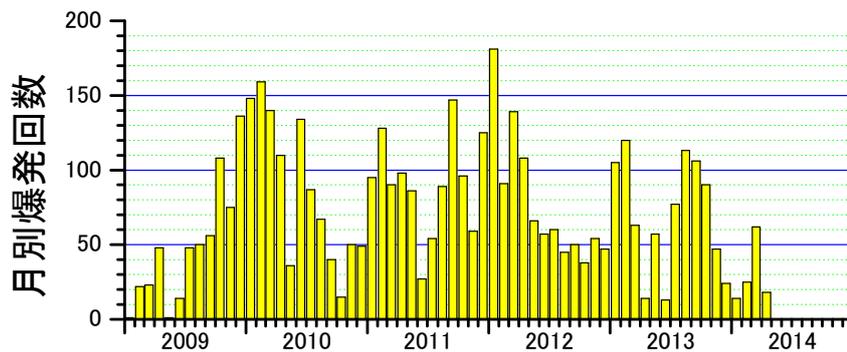
有村観測坑道における傾斜変化から見積もられるマグマ供給量は 2014 年以降、減少している。

北岳下へのマグマ供給量の見積もり



北岳下へのマグマ供給量の見積もり

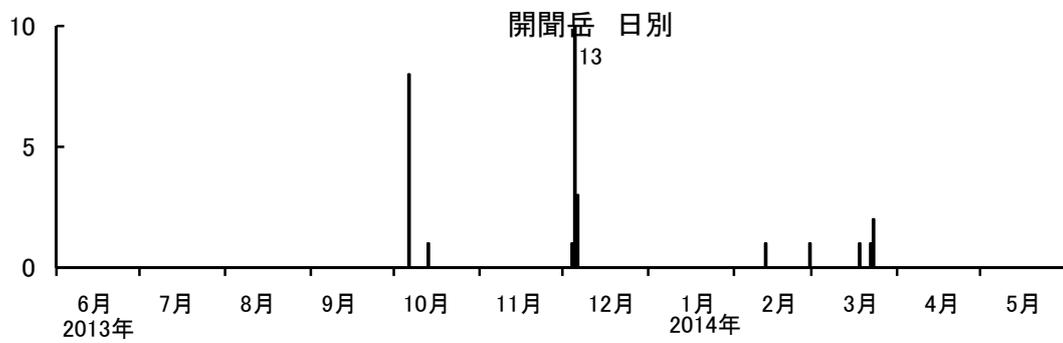
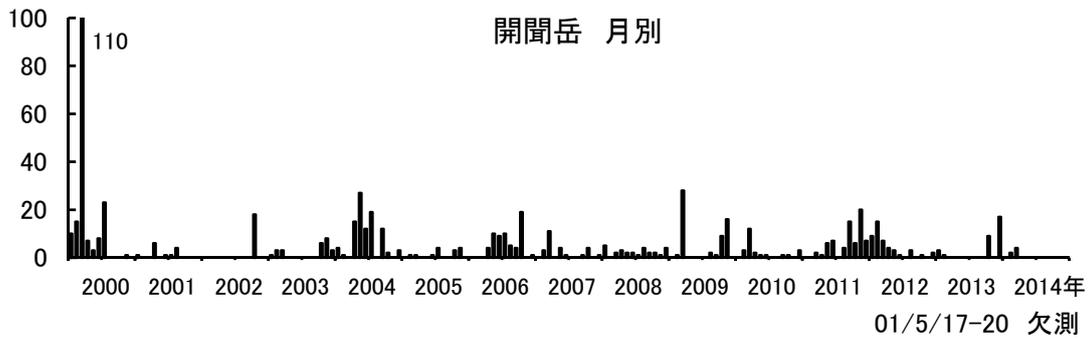
ハルトマ山観測坑道のひずみ変化から見積もられるマグマの月毎の供給量には大きな変化はない。



黒神温泉ガス

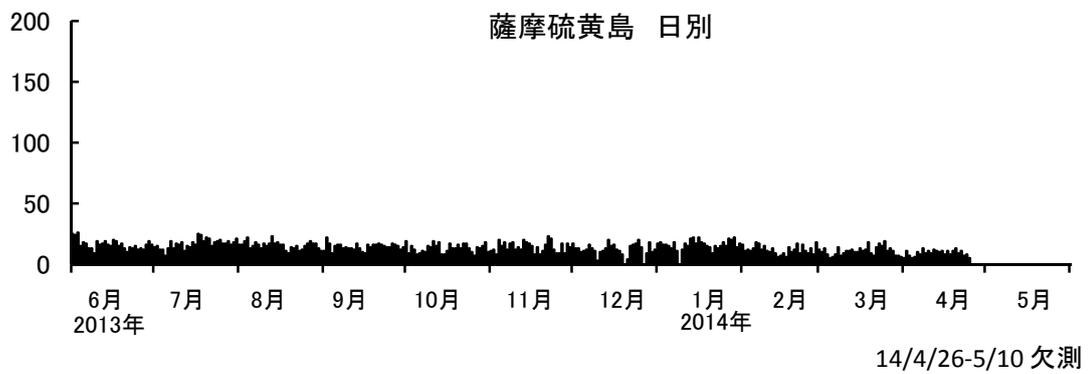
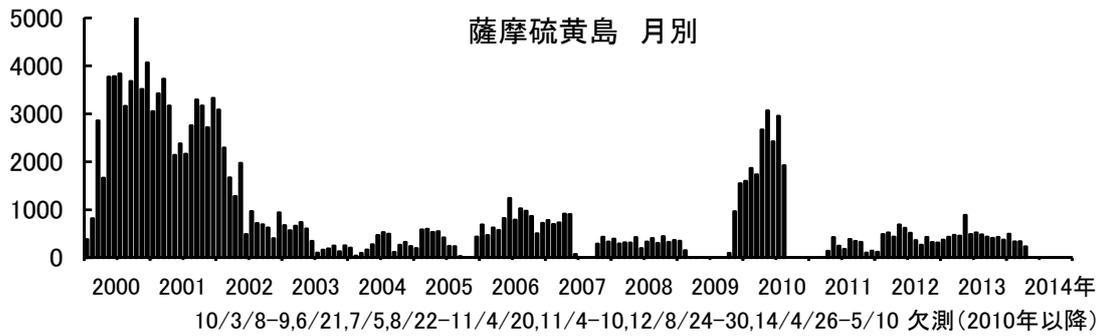
温泉ガス中の水素濃度は 2009 年に急激に増加した後、大気圧の変化を受けながら、指数関数的に現象が続いている。二酸化炭素濃度は 2009 年に急激に増加した後、冬～春に増加、夏に減少する季節変動的な変化を示したが、2013 年以降は、4～5%の濃度で安定した状態が継続している。

開聞岳における地震活動の推移



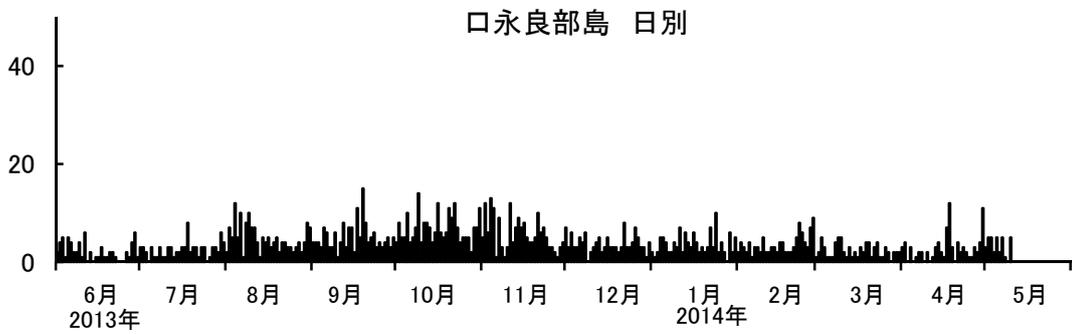
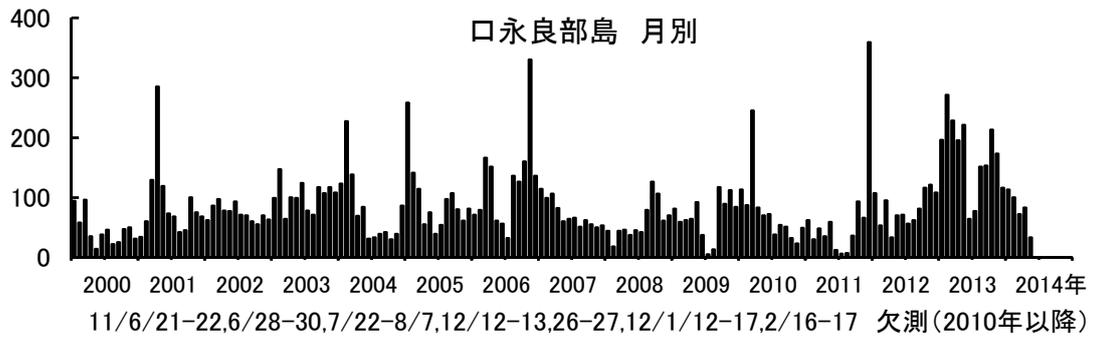
開聞岳における火山性地震の発生回数
(2014年5月10日まで)

薩摩硫黄島における地震活動の推移



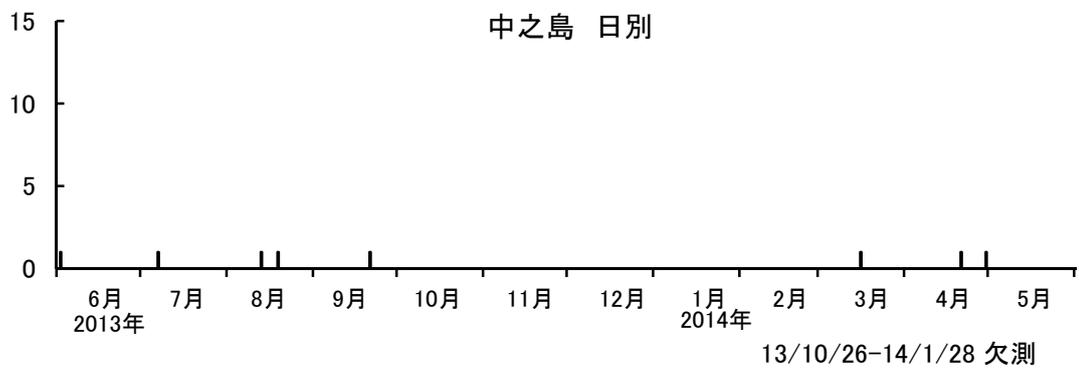
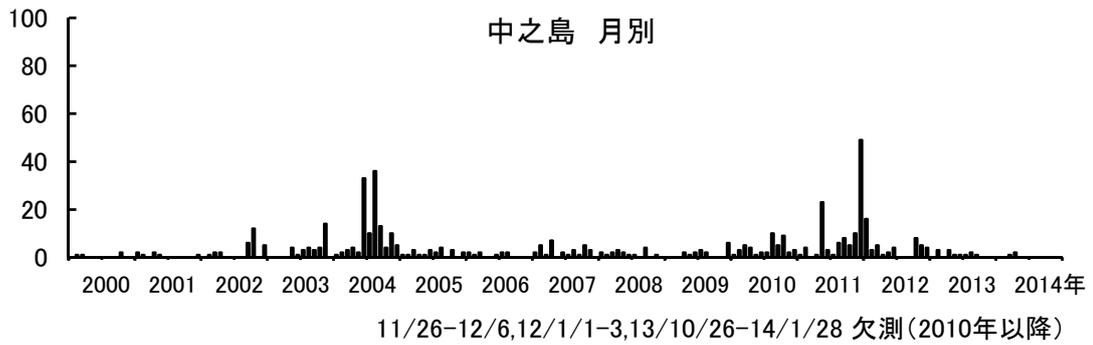
薩摩硫黄島における火山性地震の発生回数
(2014年5月10日まで)

口永良部島における地震活動の推移



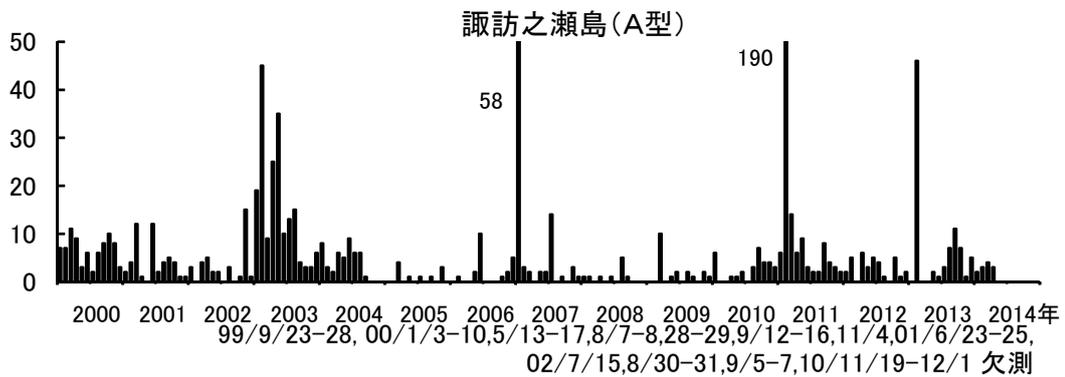
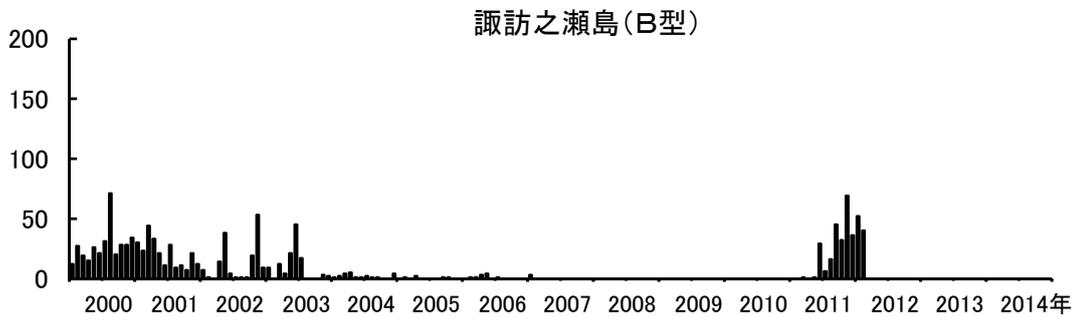
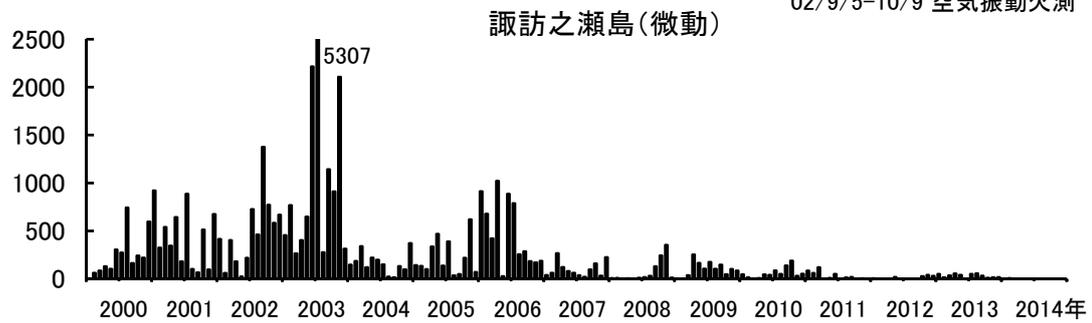
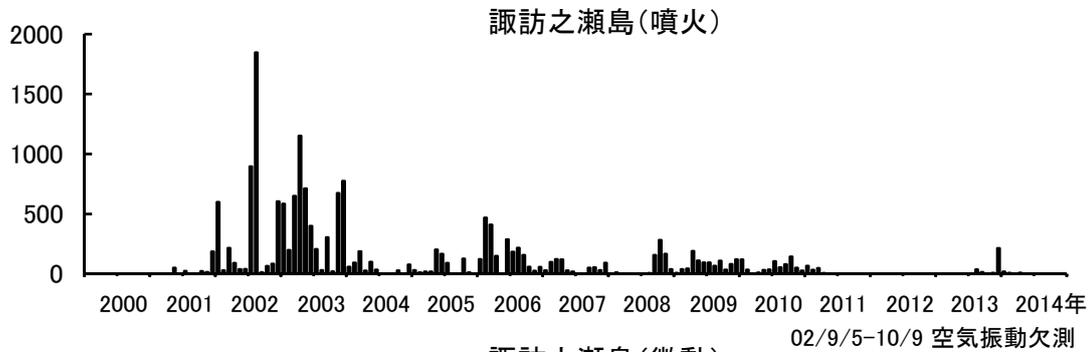
口永良部島における火山性地震の発生回数
(2014年5月10日まで)

中之島における地震活動の推移



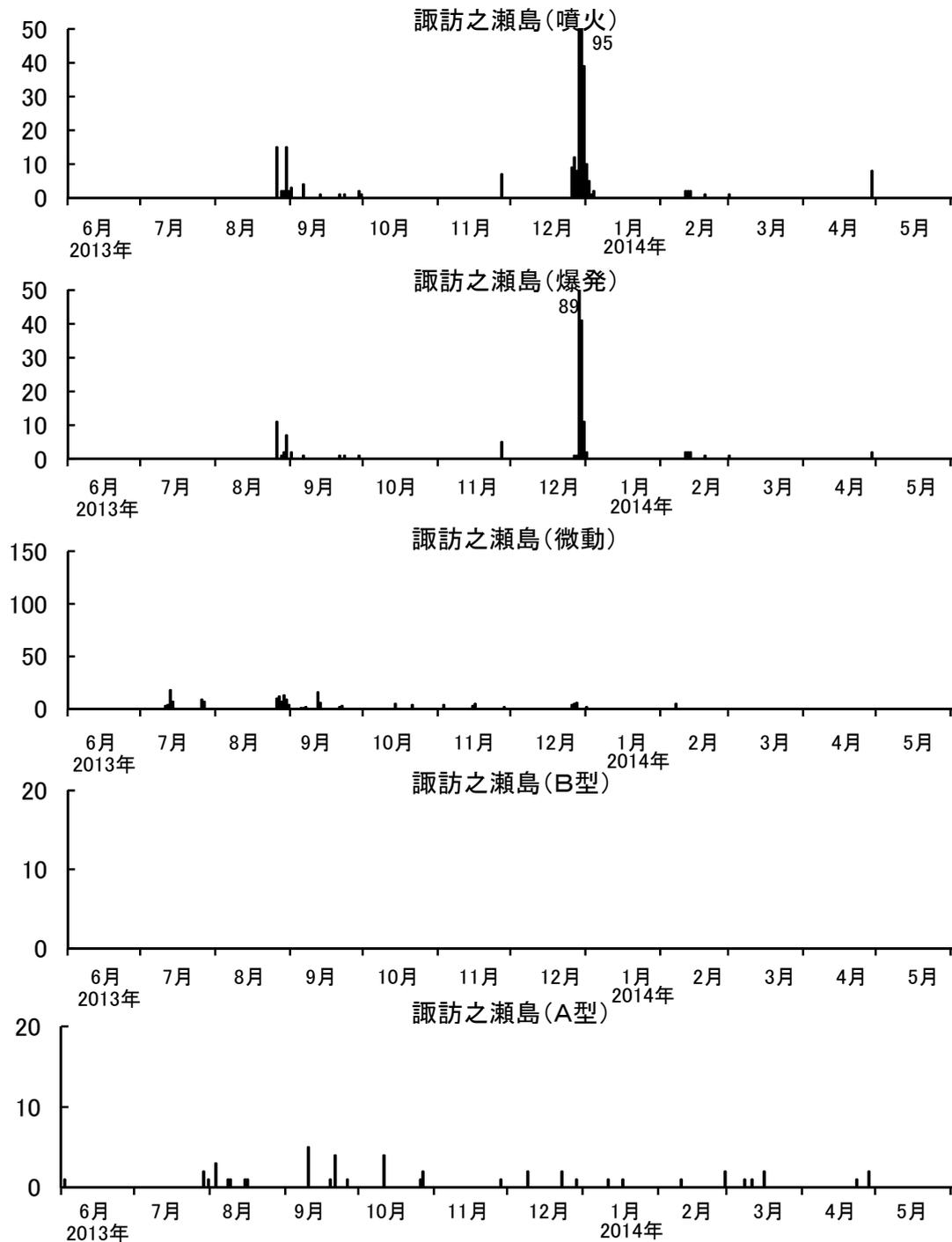
中之島における火山性地震の発生回数
(2014年5月10日まで)

諏訪之瀬島における長期的噴火活動・地震活動の推移



諏訪之瀬島における火山性地震の月別発生回数
(2014年5月10日まで)

諏訪之瀬島における短期的噴火活動・地震活動の推移



諏訪之瀬島における火山性地震の日別発生回数
(2014年5月10日まで)